

津久戸

令和6年8月26日

8, 9月号 新宿区立津久戸小学校

備えあれば憂いなし

校長 本間 基史

8月8日に日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生しました。この地震の発生に伴って、南海トラフ地震の想定震源域では、大規模地震の発生可能性が平常時に比べて相対的に高まっていると考えられたことから、8月8日19時15分に南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表され、15日17時まで「特別な注意の呼びかけ」が継続されていました。校長もいつでも学校に参集できるように待機するなど、緊張が走りました。引き続き、いつ大地震が発生してもおかしくないことに留意し、「日頃からの地震への備え」を実施していきます。

巨大地震注意の時は地震が発生したらすぐに避難するための準備として

○つねに家族の所在地を把握

○非常用袋やヘルメットを玄関に

○寝る時は枕元にはきなれた靴を置いておく

などが、内閣府の防災情報ページに載っていました。

学校にお子さんがある時には、毎月の避難訓練でどのように行動するか、自分の身を守るためにはどうすれば良いかを指導しています。今回の件を受けて、各ご家庭でも、登下校途中、習い事の最中、遊びに行っている時など、どのように行動すれば良いかを再確認しておいてください。もし、学校にいる時に震度5弱以上の地震が発生した時には、保護者の方が迎えに来られるまで、学校で安全にお預かりします。

7月20日に実施した地域協働学校運営協議会主催の「防災キャンプ」では、簡易トイレの設置やダンボールベットの組み立て、水消火器訓練、応急タンカ体験（私も乗っかって、重いのに子供に運んでももらいました。）など保護者の方も一緒に訓練することができました。「備えあれば憂いなし」で地震に対応していきます。また、能登半島地震の復興に向けて、図工の写真作品を通して、被災した石川県珠洲市の小学校との交流活動も5年生が進めています。この活動は東日本大震災の時にも、被災地の学校と作品交流を通して励ますというプロジェクトがありました。「希望の手」をテーマに写真を撮影して作品交流をします。

私もボランティアで珠洲市に行き、小学校と中学校で授業をさせていただきます。お互いの学校の作品は本校でも展示いたします。2学期は開校120周年記念式典もあります。本校の教育活動にご協力よろしく願います。また、50周年記念神楽坂祭りの阿波踊りでは保護者の皆様にたくさんお手伝いいただきました。ありがとうございました。

今年度の校内研究について

研究主任

「校内研究」は、子供たちによりよい学習の機会を提供するために、私たち教員が授業改善に向けて取り組んでいくことを言います。

津久戸小学校の学校教育目標は、「知性と教養にあふれ たくましく前向きに生きる 津久戸の子」です。今年度の研究は、「児童の心と体をつなぐ体育学習～自己調整できる児童の育成を目指して～」を主題とし、学校教育目標の実現に向けて授業改善を図っていくこととしました。

昨年度から「体育科」を研究教科とし、楽しく運動することを通して、基本的な動きを身に付け、諦めない心や向上心を育み、友達と協働する力を付けてきました。

今年度は、さらに研究を推進し、児童が自己調整しながら学習できることを目指します。「自己調整」とは、自らの学びを自らデザインすることです。そのために、自らの課題を把握し、自分や友達の力がわかり、課題を解決するための方法を知る。その上で試行錯誤しながら運動に取り組み、成長を実感したり、次時の課題を設定したりします。これらのサイクルを自ら回すことができるようになることが、「自己調整ができること」と捉えています。

「新宿」という都会に住む本校の児童にとって、思い切り体を動かす機会を保障する体育は、非常に大切です。その体育の授業を充実させることで、児童に必要な資質能力を育てていきます。日頃の体育授業について、ぜひご家庭でも話題にしてみてください。

算数少人数教室から

少人数担当

本校では3年生、4年生、5年生、6年生で算数少人数指導を実施しています。

児童一人ひとりの特性を多様な方法で情報収集し、その習熟の程度を的確に把握した上でコース分けを行っています。学力を伸ばすため、理解や習熟に応じた効果的な集団を編成して学習を進めています。

毎週、算数少人数担当と学級担任が打ち合わせを行い、少人数のよさを生かし、つまずきに応じた指導や、発展的な指導などを工夫し、一人ひとりが確実にステップアップできるようきめ細やかな指導を行っています。

基礎的・基本的な知識及び技能の習得に加えて、「主体的に取り組む力」「多面的に考え、筋道立てて説明できる力」「生活や学習に生かすことができる力」などを育てていきます。

また、児童一人ひとりが「算数は楽しい」と思えるような授業展開や環境・雰囲気づくりの工夫に努めたいと思います。

道徳授業地区公開講座

道徳授業地区公開講座は、子供たちの豊かな心を育むとともに、学校・家庭及び地域社会が連携して、小中学校等における道徳教育の充実を図ることを目的として開催しています。

今年度は、9月7日（土）の2校時に全クラスで道徳の授業を公開します。3校時は、2024パリオリンピック競泳日本代表の牧野紘子様を講師としてお迎えし、講演会を開催します。講演会は、5・6年生の児童と、希望する全学年の保護者の方が参加可能です。ぜひ足をお運びください。

学校における道徳教育は、特別の教科道徳の授業を核として、学校の教育活動全体を通して行っています。核となる道徳の授業は、「自分自身に関すること」「他の人とのかかわり」「自然や崇高なものとのかかわり」「集団や社会とのかかわり」の4つの視点の中から、学年の実態に合わせて、年間指導計画を作成し、学習していきます。道徳性を養うためには、子供たちが関わっている家庭、地域などと連携することが大切です。

今年度からは、「東京都道徳教育教材集」が電子化しています。教育委員会のホームページからご覧になれますので、ご家庭でも、お子さんと一緒に教材を読んだり話し合ったりしてみてください。

これからも豊かな心の育成を目指し、教育活動を推進していきます。



<お知らせ>

- ・学校公開と共に夏休み作品展を行います。詳細は学年だよりにてご確認ください。
- ・学校公開での写真撮影は、ご遠慮していただいております。なお、PTA広報担当者は、**腕章を付けて**広報誌「いいぎり」用に写真撮影をしています。ご理解のほどよろしくお願いいたします。



8・9月の生活目標

『きまりよい生活をしよう』

- ・学校のきまりを守ろう。
- ・廊下を静かに歩こう。
- ・学習の準備をきちんとしよう。



新学期になりました。朝の登校時間が終わる**8時15分**までに登校できるように生活のリズムを整えましょう。まだまだ暑さの厳しい日が続くことが予想されます。ハンカチ、汗拭きタオル、大きめの水筒の準備もよろしくお願いいたします。また、学習や生活に必要な持ち物の準備などもご確認ください。

(生活指導部)